



資源の有効活用の取り組み



ホームページ
掲載情報

・事業所における取り組み
(雨水および河川水の有効利用 ほか)

基本的な考え方

ミネベアグループの製品に欠かせない金属、プラスチックなどの原材料や、エネルギー源となる石油、天然ガスなどは、その使用量に限りがあります。また、電子機器製品に不可欠なレアアース（希土類元素）は、産出国が限られるため、輸出制限などを受けやすくなっています。

当社グループでは、事業活動の継続のためには資源の有効活用が重要であると考え、経営的な視点から取り組みを行っています。

2012年度の取り組み結果

2012年度にミネベアグループ全体で使用された主な原材料は、鋼材:約72,320トン、樹脂:約5,400トンで、合計量は2011年度とほぼ同量でした。

一方、当社グループから社外に排出された後、最終処分（埋立）された廃棄物量は4,330トンでした。2011年度のレポートでは2011年度実績値を4,061トンと報告しておりましたが、集計方法に間違いがあり、再集計の結果正しくは4,697トンでした。おわび申し上げます。そのため、2011年度から比較した場合、2012年度は367トンの削減となりました。

また、当社グループではタイや中国の量産工場におい

て、工場内で発生した排水を可能な限りリサイクルし、工場外に排出しない「工場排水ゼロシステム」を運用しています。2012年度の当社グループにおける工場排水量は784,000m³で2011年度と比較して132,000m³の減量となりました。

事業所における取り組み

●携帯電話のリサイクル活動(タイ)

2012年3月より、ミネベアグループのタイ子会社はノキアと共同で、廃棄携帯電話および付属品をリサイクル回収する「Weee Can Doプロジェクト」を実施しました。ノキアから記念品やプレゼントを抽選で贈ることで、ミネベア工場内で多くの廃棄携帯電話・付属品を回収しようという取り組みです。バンパイン工場とロッブリ工場において、ガードハウス、食堂、売店などに回収ボックスを設けたほか、従業員送迎バスに携帯電話回収キャンペーンのステッカーを貼り、回収を呼びかけました。

回収された携帯電話、付属品は、ノキアが専門企業に委託して、無害化処理後、リサイクル処理されます。今回集まった携帯電話、付属品の台数は次のとおりです。

・バンパイン工場(実施期間:2012年3月13日～2012年9月13日)

携帯電話:2,169台、付属品:1,424個

・ロッブリ工場(実施期間:2012年11月1日～2013年3月29日)

携帯電話:1,106台、付属品:1,379個

今後の目標・課題

2013年度の廃棄物の最終処分量目標は、再集計結果も踏まえ、4,300トン以下として取り組みを進めます。また、現在、埋め立て処分されている廃棄物の性状調査や市場分析などにも取り組み、今後よりいっそうの削減を目指します。

▶廃棄物等処理実績(2012年度実績)

